

---

# 新生架空兵器の館

重巡とね

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

新生架空兵器の館

### 【Nコード】

N7697W

### 【作者名】

重巡とね

### 【あらすじ】

前作の架空兵器の館が終了してから10日・・・  
ここに新たな架空兵器の館が開館致します  
新生架空兵器の館、館長重巡とね  
従業員、艦魂達と人間

## 零式 怪しい館に突入（前書き）

前作品の架空兵器の館から10日、新たな架空兵器の館がここに開館する

## 零式 怪しい館に突入

ここは、零島諸島

架空連合艦隊の拠点がある諸島である

この諸島にある最北端の島、第220番島、空島に戦艦が4隻停泊していた

この戦艦の名前は備前型の戦艦備前、備中、備後、備讃の4隻である

?? x 4

「「「「・・・・・・」」」」

そこへ4人の士官服を着ている少女が上陸した

ショートヘアーで腰に短剣を付けているのは戦艦備前の艦魂、備前

ポニーテールで背中に太刀を背負っているのは戦艦備中の艦魂、備中

腰までのポニーテールで眼鏡を掛け、両腰に南部拳銃をホルスターに  
いれているのは戦艦備後の艦魂、備後

ショートヘアーで背中に九九式歩兵銃着剣状態を背負っているのは  
戦艦備讃の艦魂備讃である

備前

「で、この空島で作者は一体何をするつもりかしら」？

備中

「さあ、私には分からないなあ」

備後

「・・・この島は兵器貯蔵庫と兵器部品開発工場と怪しい洋館があるだけです」？

備讃

「まあ、取り合えず怪しい所から探って行くのだ」

そう言つて4人が向かったのは朽ち果てかけた洋館である

この洋館は架空連合艦隊がこの零島諸島に基地を作る前からこの島に建っていた洋館である

この島に係留する者は時々この洋館に肝試しをやり行くが帰つて来た者は数日以内に必ず

病死や事故死をして殉職している者が多い

備前

「ここが魔窟の洋館ね・・・」

備中

「だ、大丈夫かな・・・」

備後

「・・・ある意味私達もお化けみたいな存在ですから大丈夫ですよ  
備中姉さん」

備讃

「でも・・・やっぱり怖いのだ・・・虫とか多そうだから火炎放射

器の中に殺虫剤を入れるのだ」

そう言っただけから取って来たのか、防護服に火炎放射器の中に殺虫剤を入れている備讃が言った

備前

「ちょ、備讃・・・虫だけにそれだけの重装備はいらないんじゃない？」

備讃

「何いつているのだ備前お姉ちゃん！ハエ一匹に対して殺虫剤のスプレー缶を半分以上使うのは当たり前なのだ」！！！！！！

備前・備中・備後

「「「いやいやいやいやいやいやいやいやいや」」」！！！！！！

全力で備讃の言葉を否定する全員だった

因みに作者の場合はハエ一匹に対して殺虫剤スプレー缶1本丸ごとつかいます（キリッ

備前

「じゃ、じゃあ行くわよ・・・」

備前達は恐る恐る洋館の中に入って行った

備中

「や、やっぱり怖いね・・・」

備後

「・・・（ガタガタブルブル）」

備讃

「か、懐中電灯をもつてくればよかったのだ・・・」

全員が歩いて奥に進んだその時！

??

「うう・・・だあゝれえゝだあゝ・・・」！

備前・備中・備後・備讃

「「「ぎゃああああああああああああああああ」」「

「！！！！！！！！！」

ドタン！ガタン！バスン！ベキヤ！

突然のうめき声に備前達は大声で驚いてその場で折り重なってこけた

??

「お、おい大丈夫か」！？

次回へ

## 零式 怪しい館に突入（後書き）

ご意見ご感想お待ちしております



一式 戦艦備前型（前書き）

新生架空兵器を出します！！！！

架空兵器1発目レッツゴー！！！！

## 一式 戦艦備前型

備前達が空島にとねを探しに行つて10日後・・・

9月22日

れいとつしよとついちばんとつれいしま  
零島諸島一番島零島

ウウウウウウウウウウウウウウウウウウウ  
ウ！！！

突如この諸島に警報がけたたましく鳴った

かくうれんごうかんたい きかん せんかんきい  
架空連合艦隊旗艦戦艦紀伊

かんきよう  
の艦橋に一人のセミロングで腰にナイフを下げている士官服を着た少女がいた

彼女の名前は紀伊<sup>きい</sup>、架空連合艦隊の現旗艦の艦魂である

紀伊

「敵はなんなの」！？

そう言つて双眼鏡を見る紀伊、その先に見えるのは大型の艦が4隻・

・  
よこいちもんじたいけい  
横一文字隊形でこちらに接近してきている

紀伊

「大型の所属不明艦が4隻接近中！沿岸の自走砲部隊と対艦砲、艦船部隊は戦闘準備！  
航空機部隊は緊急発進して」！！！！

??

「その必要はないぜ紀伊」

紀伊

「誰ですか」！？

紀伊の後ろで突然、声がして紀伊が後ろに振り向いた、そこに居たのは・・・

紀伊

「さ、作者さん！？そ、それに備前姉さん達も」！？

紀伊の後ろに居たのは架空連合艦隊司令長官でありこの作品の作者である重巡じゅうじゆんとねと備前、備中、備後、備讃の5人であった、備前達は何故かマントをはおっている

紀伊

「さ、作者さん何処に行っていたのですか?!それより所属不明の大型艦が4隻こちらに向かって来てますよ」!?

重巡とね(以降作者)

「あの新型戦艦の事か」?

紀伊

「し、新型戦艦」!?

作者

「ああ・・・新型戦艦備前、備中、備後、備讃の4隻だ」!!!

せんかんびぜんがた  
戦艦備前型

せいのもう  
性能

きしゆんはいすいりよう  
基準排水量

ぜんちよう

8万8420トン

まんさい  
満載

10万4680トン

ぜんはば  
全長

280メートル

ぜんはば  
全幅

40メートル

そくりよく  
速力

40ノット (時速約72キロ)

こうてきより  
航続距離

16ノットで1万6640海里

そつこう  
装甲

かんぱん

甲板24センチ舷側48センチ

じよういん  
乗員

2400人

ぶそう  
武装

50センチ連装速射主砲4基（前部2基 後部2基）  
 80センチ大型追尾式対艦墳進弾発射機4連装16基  
 20センチ長距離中型追尾式対空墳進弾発射機8連装42基  
 10センチ小型追尾式対潜墳進弾発射機12連装4基  
 20センチ巡航墳進弾発射機2連装8基  
 8センチ連装速射高角砲16基  
 30ミリ近接防御6連多砲身機関砲16基  
 20ミリ近接防御6連多砲身機関砲16基  
 16ミリ連装両用機関銃10基  
 電磁カタパルト2基  
 航空機8機  
 95式艦上偏向翼戦闘偵察機海鳥4機  
 艦上戦闘偵察爆撃機烈風26型4機  
 同型艦 備前 備中 備後 備讃

補足  
ほそく

架空兵器の館の戦艦備前型を改良した新型戦艦

前の備前型は41センチ3連装主砲搭載だったが、この艦は50センチ連装主砲4基を搭載している

高角砲も速射性を上げる為、前の10センチ高角砲から8センチ高角砲に換装されている

追尾式墳進弾を大量に搭載していて、対潜攻撃も行なえる性能になっている

対空面に関してはもはや最強と言ってよいほど優秀である

架空連合艦隊が解散した今、新たな架空連合艦隊が発足される・・・

紀伊

「こ、これが・・・架空連合艦隊の解散の理由ですか・・・」

作者

「いや・・・上層部から『旧式装備を全てを新型装備に換装しろ』  
って言われて

空島で新型戦艦を健造していたんだ・・・そして、備前達をその新型戦艦に移してもらったんだ」

紀伊

「で、備前姉さん達はなんでマントをはおっているんですか」？

作者

「ふふふ……よくぞ聞いてくれました！ 備前」！！！！

備前

「分かってるわよ」！

そう言って備前達は、はおっているマントを一気に放り投げた

紀伊

「っん！？！？！？ななな、なんですか備前姉さん達その格好は」  
「！？！？？」

備前達の格好は上は普通の士官服だが下がいつもの長ズボンがスカートになっている

因みに、備前、備中、備讃がミニスカートで備後はロングスカートである

作者

「いや、備前達に新しい架空連合艦隊を作るって話したら服装も変えたって備前達から意見を聞いたり他に前々から駆逐艦や潜水艦の艦魂からスカートにしたいって言われていたから今回、実行しました」

備前

「それに、この士官服の後ろには架空連合艦隊の紋章がはいってる、前の士官服より動きやすいわ」

備中

「それに武装もいろいろ取り付けられるし・・・」

備後

「・・・春夏秋冬<sup>はるなつあきふゆ</sup>全て対応できますし・・・」

備讃

「ズボンの方がいって人はズボンを履いてもいいのだ」！

紀伊

「へえ・・・そうなんですか・・・って一体、空島で何があったんですか」！？！？

作者

「その理由は話すから、架空連合艦隊全艦艇、全兵員、全艦魂を招集しろ」！！

紀伊

「りよ、了解です」!!!

次回へ



## 一式 戦艦備前型（後書き）

ご意見ご感想お待ちしております

## 二式 高高度防空戦闘機桜花

架空連合艦隊拠点零島、艦艇<sup>かんていはくち</sup>迫地にて・・・

架空連合艦隊現旗艦戦艦紀伊の甲板には紀伊の乗員、と艦魂達が集まっていた

戦艦紀伊の周りには架空連合艦隊の全艦艇が集まっていた

周りがざわついている所に士官服に身をまとったとねが現れた  
後ろには戦艦備前型4隻の艦長4人と艦魂4人がとねの後ろに並んだ

とね

「あーあー・・・諸君！突然招集してしまつてすまない・・・先日  
の架空連合艦隊の

解散の事は聞いているな？その事で今日は集まってもらつた」！

そう言つと全員が少しざわめきだした

水兵

「長官！架空連合艦隊は本当に解散するんですか」！？

士官

「もし解散した場合は我々兵員や艦魂はどうなるんですか」！？

初音

「私達は解体されるんですか」！？

「それとも何処かに売り飛ばすつもりですか」！？

作者

作者の声で全員黙った……

## 性能

翼幅 14メートル

發動機

最高速度 800km/h

実用上昇限度 15000メートル

武装·爆装

30ミリ機関砲4基  
(左右翼内2基ずつ)

8センチ空対空墳進弾16発  
(左右翼8発ずつ)

18

補足

架空兵器の館の特殊戦闘機桜花を新設計した、新型戦闘機

前の桜花は特殊攻撃機から戦闘機に改良しただけだが、この桜花は水冷発動機を搭載している

二式発動機は3000馬力を発揮する優秀な発動機である

プロペラは4枚の二重反転プロペラを採用している

この桜花は高高度防空を目的として開発している

外見は旧日本軍の未完成高高度戦闘機『キ94』を

参考に行っている、設計も『キ94』基本設計として開発している

とね

「・・・架空連合艦隊は解散した・・・だが、この戦艦紀伊前方にある新型の備前型を見る」

そう言うのと全員が戦艦紀伊の前に停泊している備前型4隻を見た

とね

「何故、架空連合艦隊が解散と言われて、新型の戦艦を作ったのか・・・それは！

現在の架空連合艦隊の全ての戦闘艦艇、戦闘航空機、戦闘車輛を改良して

新しい架空連合艦隊を設立する・・・架空連合艦隊は現時点を持つて解散と同時に、



補給部隊・工作部隊・整備部隊  
「「「りよ、了解」」」!!!」

備前

「琉球、蝦夷もすぐに向かいなさい」

琉球・蝦夷

「「りよ、了解」」!!!」

9月25日・・・今日、ここに新生架空連合艦隊が設立された

次回へ

## 二式 高高度防空戦闘機桜花（後書き）

次回から普通に架空兵器を紹介させてもらいます

ご意見ご感想お待ちしております

### 三式 航空戦艦琉球型

零島諸島第142番島ばんとつきしま月島

紀伊

「しかし・・・新生架空連合艦隊になったのはいいですけど・・・やる事は一緒ですね」？

そう言つて備前に話す紀伊、ちなみに服装は長ズボンのままである

備前

「まあね、名前と兵器を改良したり新造したりするだけだからやる事はほばかりないわよ」？

紀伊

「所で・・・空島で何があつたんですか」？

備前

「ああ、それはね・・・」

作者

「おい、お前ら琉球と蝦夷の新造艦が出来たぞ」



備前が言おうとした時に作者が現れて備前と紀伊は作者に付いて行  
った

航空戦艦琉球型  
こうくうせんかひゅうきゅうがた

性能

基準排水量 8万4680トン 満載 10万8680トン

全長 360メートル (飛行甲板 ひこうかんばん 160メートル)

全幅 38メートル (飛行甲板 最大幅40メートル)

速力 40ノット (時速約72キロ)

航続距離 16ノットで2万2240海里

装甲 甲板24センチ 舷側46センチ

乗員 3600人 (航空要員 こうくうよういん 含める)

武装

46センチ三連装速射主砲2基 (前部2基)  
さんれんそう でんじふくほう

16センチ三連装電磁副砲1基 (前部1基)

16センチ大型追尾式対艦墳進弾発射機4連装16基

10センチ小型追尾式空対空墳進弾発射機12連装8基

10センチ小型追尾式対潜墳進弾発射機12連装8基

8センチ速射高角砲16基

30ミリ近接防御8連多砲身機関砲48基

20ミリ近接防御8連多砲身機関砲48基

16ミリ両用機関銃28基

電磁カタパルト2基

航空機60機

95式艦上偏向翼戦闘偵察機海鳥10機

艦上戦闘偵察爆撃機烈風26型30機

艦上戦闘機紫電71型10機  
艦上回轉翼戦闘機忍24型10機  
同型艦 琉球 蝦夷 長門 陸奥 八雲 出雲

## 補足

架空兵器の館の航空戦艦琉球型と航空戦艦長門型を結合して完成した新造戦艦

前の琉球型と長門型の主砲は42センチだったが新造と同時に主砲口径を46センチにあげて、  
攻撃力を上げ高角砲、機関砲、機関銃なども備前型と同じ物に換装している

尚、副砲は電磁投射機を塔載して威力を上げている

飛行甲板は？字型の飛行甲板を採用して、航空機を素早く空中展開が出来るようにしている

航空機格納庫は三段式になっており、  
上段、中段は航空機係留場と武装塔載場になっており、下段格納庫は修理施設になっている、前の琉球型は同型艦は二隻だけだったが、長門型も四隻も含めて六隻になっている

## 紀伊

「・・・長門型の4隻も琉球型に取り入れえましたか」

## 作者

「航空戦艦は一つの型に搾ろうと考えてこうなった」

## 備前

「さてと・・・琉球に蝦夷、もったいぶらないで早く出てきなさい」

そう備前が言っていると作者の後ろから琉球と蝦夷の二人が出て来た

琉球

「新生架空連合艦隊、航空戦艦琉球・・・」

蝦夷

「新生架空連合艦隊、航空戦艦蝦夷・・・」

琉球・蝦夷

「「ただいまここに着任致しました」！！！！」

そう言つてその場で敬礼をする二人

服装は士官服をマントのように羽織っており、ロングスカートを履いている

琉球は右腰に大型リボルバー、コルトパイソンをホルスターから下げていて、

蝦夷は左腰にドイツ製の拳銃、P-38をホルスターから下げていた

紀伊

「琉球姉さんと蝦夷姉さんもスカート派だったか・・・」

備前

「まあ圧倒的にスカートにしてほしいって人が多かったからね」

作者

「服装は自由だつて言っただけ」？

琉球・蝦夷

「にしても体が軽いよ」「！！

作者

「そりゃあ船体を変えたから軽いも当然だ」！！！！

紀伊

「で、次回は何をするんですか」？

作者

「次回は戦闘車両を哨戒します」

備前・紀伊・琉球・蝦夷

「「「「それでは皆さんまた次回でお会いしましょう」」「」「！！

！！

次回へ

### 三式 航空戦艦琉球型（後書き）

ご意見ご感想お待ちしております

#### 四式 4式機動戦車メル（前書き）

諸事情によりぐだぐだ話は無しでお送りします

## 四式 4式機動戦車メル

作者

「早速ですが始めます」

### 4式機動戦車メル

性能

全長10メートル

全幅4メートル

全高3メートル

装甲 砲等部（複合装甲装備）8センチ

車輻部（増加装甲、爆発反応装甲装備）12センチ

重量60トン

エンジン 4式水冷式V型直立8気筒ディーゼルエンジン1基

最高速度（整地）80キロ

行動距離540キロ

乗員4名

武装

12センチ単装滑空砲1基または

10センチ単装ライフル砲1基

16ミリ連装旋回機関銃1基

8ミリ単装旋回機関銃1基

8ミリ単装固定機関銃2基（主砲軸）

90ミリ10連装煙幕墳進弾発射機2基

追加装備

ドーザーブレードまたは、地雷処理装置を装備

補足

新生架空連合艦隊 りくせんたい しんがたせんしゃ 陸戦隊の新型戦車

外見は陸上自衛隊の10式戦車と りくじょうじえいたい

イスラエル軍の戦車メルカバを参考に開発しており外見もメルカバに似せて作っている

この戦車は機動力と人員の生存力を上げているが装甲も多彩に搭載しているので頑丈に作っている

それとこの戦車は空挺戦車としても活用できるので、活躍が期待されている

機関銃は対空用だが殆ど地上の防御処置として作られている、（現在の戦車も同じ）

旋回機関銃は自動と手動に切り替えるタイプのを新設計して搭載している

作者

「ではこの辺で・・・次回は航空機をやります」

次回へ



## 四式 4式機動戦車メル（後書き）

ご意見ご感想お待ちしております

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7697w/>

---

新生架空兵器の館

2011年11月12日07時18分発行